

まとめ

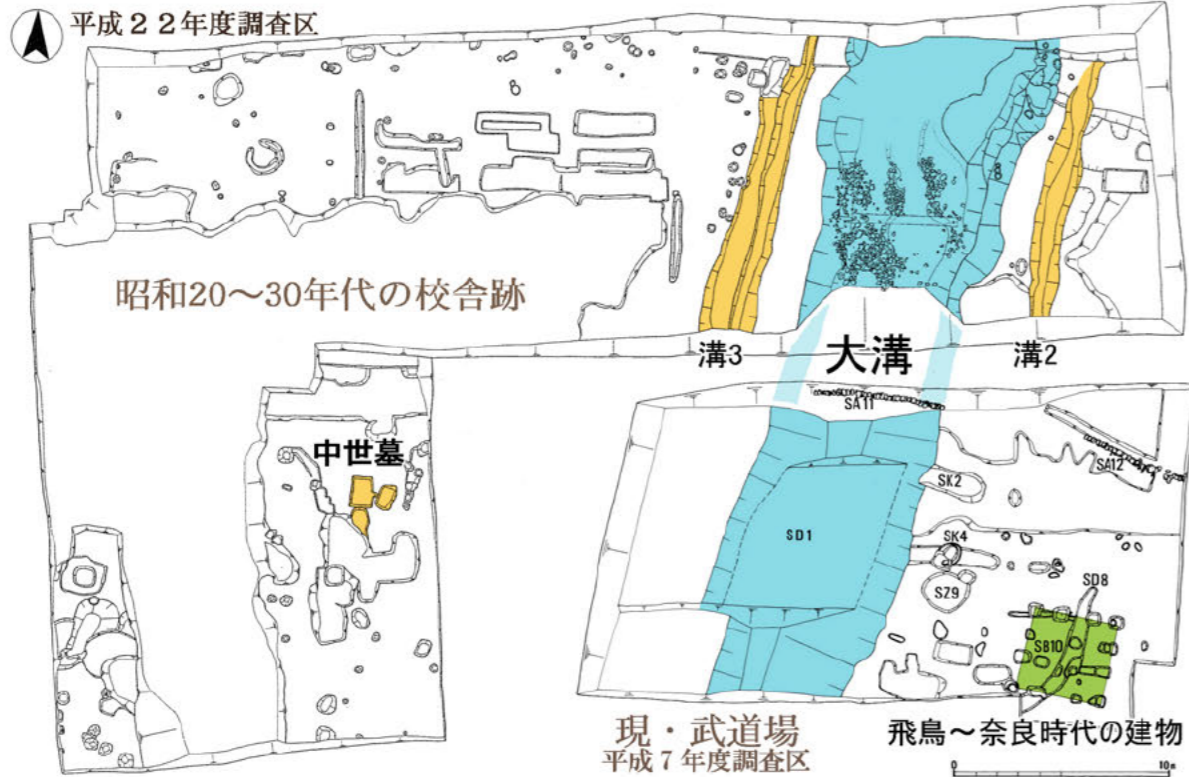
発掘調査の結果、大溝から飛鳥時代後半の石組遺構が発見されました。奈良県明日香村の石組は大陸伝来のデザインが主流であるのに対し、相可出張遺跡の石組は自然石を使った曲線的なもので、伊賀市城之越遺跡にみられるなど、古墳時代以来の形であると考えられます。

出土遺物が僅かであることから、石組遺構の詳細な性格はわかりませんが、「禊」などの儀礼を行う場所であったと思われます。水は大溝の上流から、すぐ北の櫛田川へと流れており、大きく深く掘られた溝の底で何らかの儀式が行われていたのでしょう。

大溝を造ったのは、この地域を開発した豪族と考えられます。相可高校周辺には明気古墳群や、象嵌大刀など貴重な遺物が出土した石塚谷古墳など6～7世紀代の古墳が多く営まれています。また、当地は式内社の伊蘇上神社（現・相鹿上神社）や佐奈神社が所在しており、古代において水銀を採掘した丹生も隣接していることから、磯部氏や飯高氏など古代豪族との関わりも考えられます。

相可は、伊勢神宮や斎宮と近く、考古学と文献史学双方から重要視されている地域です。今回発見された石組遺構が、この地域にとって非常に重要な施設であったことは間違いありません。今後は、この石組遺構がどのような性格をもっているのか、櫛田川中流域の発掘調査などを参考に検討を行うことが課題といえます。

- 調査遺跡名 : 相可出張遺跡第2次
- 所在地 : 三重県多気郡多気町相可 50
- 原因事業名 : 平成22年度 相可高等学校新実習棟建築工事
- 調査期間 : 平成22年4月28日～8月下旬
- 調査面積 : 約1,000㎡



大溝: 飛鳥時代後半～平安時代後半 溝2・溝3・中世墓: 鎌倉時代後半～室町時代前半
相可出張遺跡 遺構配置図 (紙面右上が櫛田川的位置)

おうかではり
相可出張遺跡 石組遺構現地説明会資料

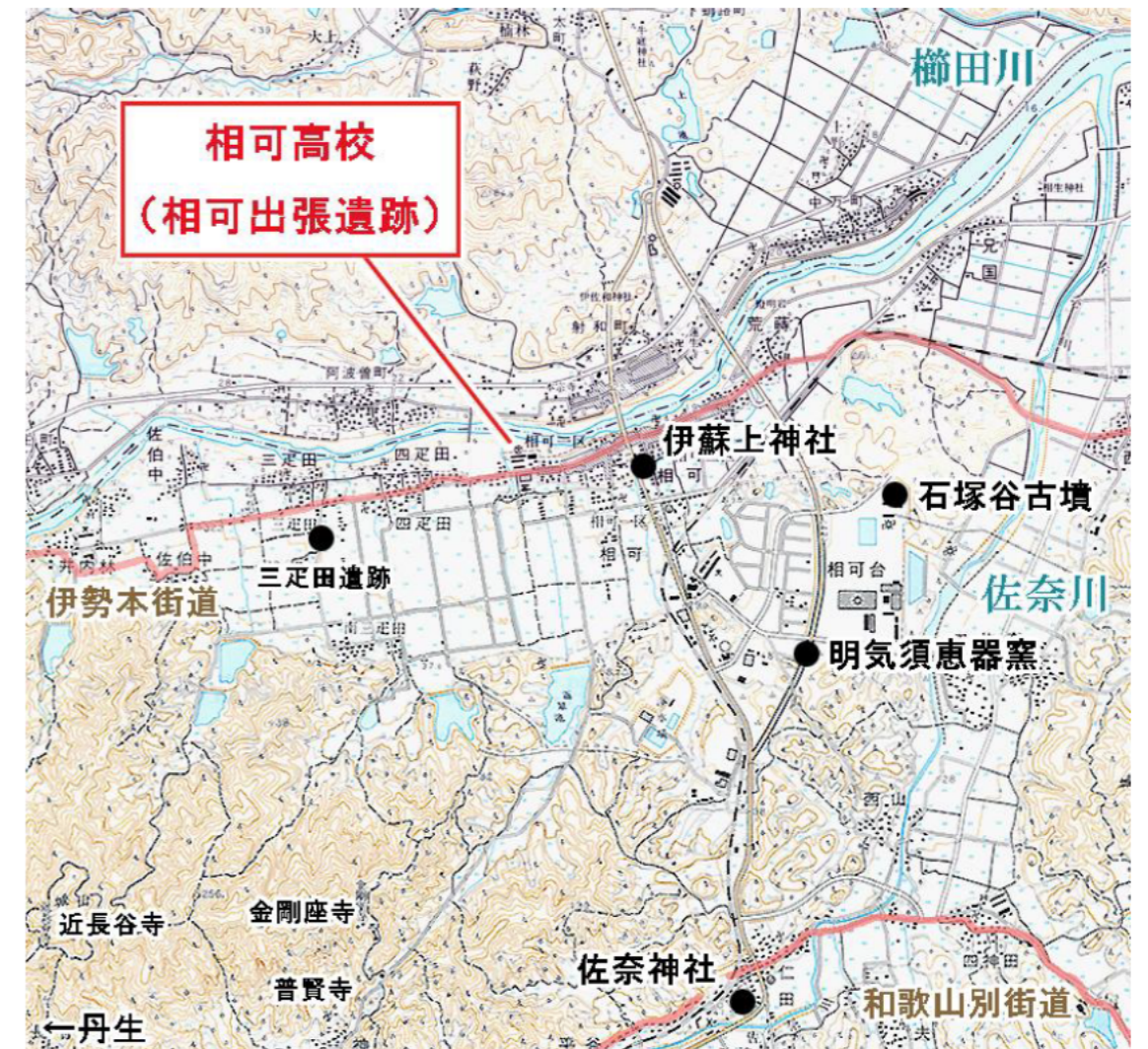
平成22年8月29日(日) 10:00～15:00
三重県埋蔵文化財センター

はじめに

相可出張遺跡は、多気郡多気町相可の相可高等学校敷地内にあります。学校のすぐ北側を櫛田川が流れており、相可出張遺跡は南岸の台地上にあたります。相可高校の東にかかるとりょうぐんばし、ちやうど飯野郡(現・松阪市)と多気郡の郡界になっています。

三重県埋蔵文化財センターが平成7年度に実施した発掘調査では、武道場の下から大溝や井戸、飛鳥時代から奈良時代の掘立柱建物などが見つかりました。

今回の調査は、武道場北側に新実習棟が建設されるのに先だって実施しました。その結果、平成7年度に見つかった大溝の続きから、飛鳥時代後半の石組遺構が発見されました。



相可高校(相可出張遺跡)の位置と、周辺の遺跡・社寺

調査の成果

■大溝（幅約8m・深さ約2m）

平成7年度に、武道場の下で発見された大溝の続きです。大溝の底から、飛鳥時代後半（天武天皇・持統天皇の頃）に造られた石組遺構が見つかりました。

石組遺構は、西岸に石垣状の石積を組み、水面に近い平坦面に石を敷いています。榎田川に近い北側には、東西両岸に一段（テラス）を設け、斜面に石を貼ることで“流れ”を作っています。

溝を大きく掘り、様々な組み合わせの石を配していることから、意図的に造形を整えた施設であるといえます。

飛鳥時代の石組遺構は、当時みやこのあった奈良県明日香村を除き、全国的にみても、ほとんど見つかっていない貴重なものです。

大溝の底に造られた石組遺構は、飛鳥時代後半に一時期だけ使用されたのち、すぐに埋まってしまうことが、土層からわかりました。その後、大溝は平安時代後半までにゆっくりと埋まっています。

【参考】飛鳥時代の年表

| 天皇 | 西暦 | できごと |
|----|------|----------------------------|
| 推古 | 593年 | 厩戸皇子（聖徳太子）を摂政とする。憲法十七条制定等。 |
| 皇極 | 645年 | 乙巳の変。中大兄皇子らが蘇我蝦夷と馬子を滅ぼす。 |
| 考徳 | 646年 | 改新の詔 |
| 斉明 | 660年 | 百濟滅亡 |
| 天智 | 662年 | 白村江の戦いで敗北 |
| | 667年 | 近江大津宮へ遷都 |
| 天武 | 672年 | 壬申の乱 飛鳥浄御原宮へ遷都 |
| | 673年 | 大来皇女が伊勢に向かう |
| | 684年 | 八色の姓制定 |
| 持統 | 686年 | 大津皇子の変 |
| | 689年 | 飛鳥浄御原令施行 |
| | 694年 | 藤原京へ遷都 |
| 文武 | 701年 | 大宝律令完成 |
| 元明 | 710年 | 平城京へ遷都 |

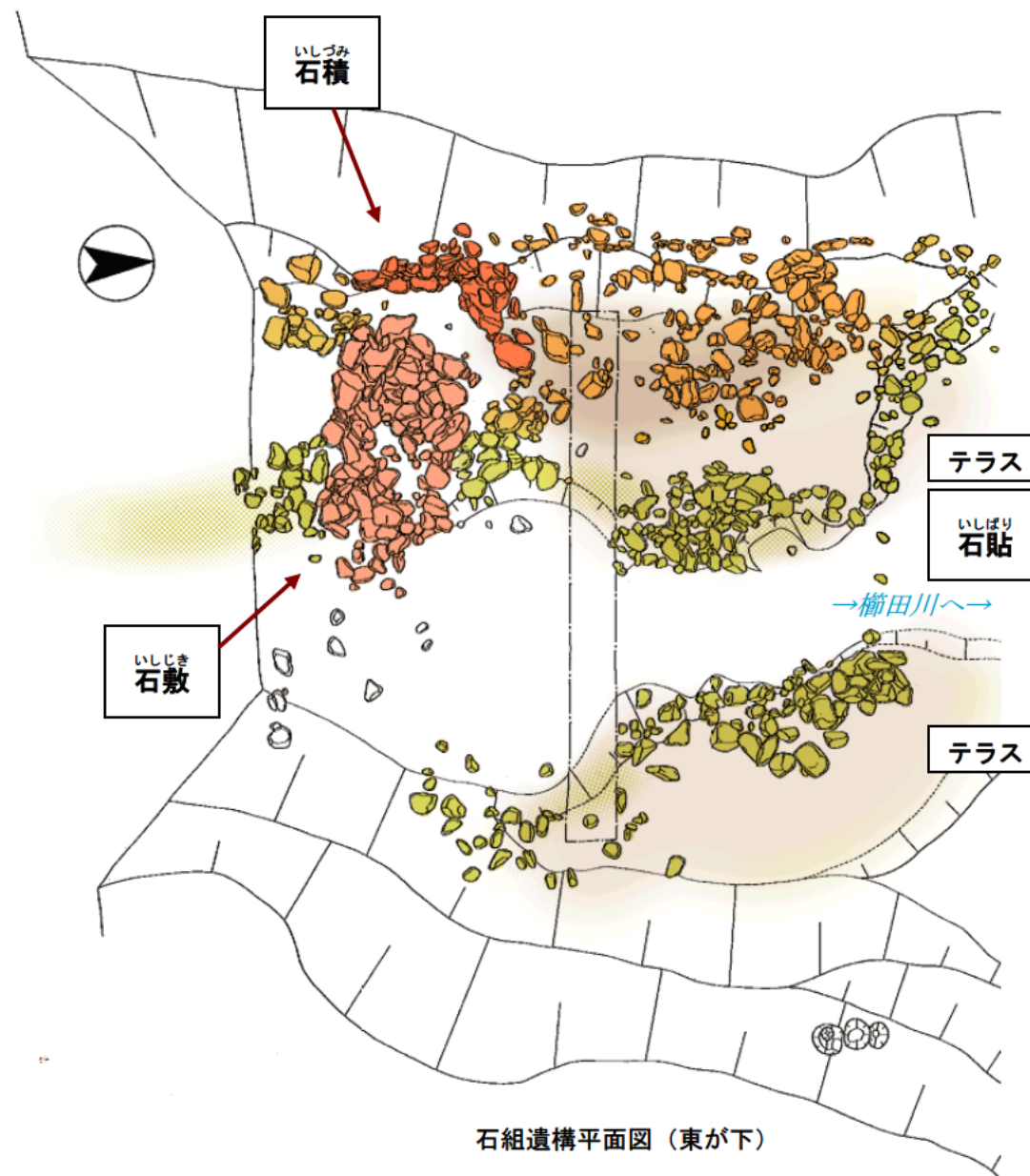


いしづみ 石積

いしぼり 石貼

いしじき 石敷

石組遺構全景（東から）



いしづみ 石積

テラス

いしぼり 石貼

いしじき 石敷

テラス

石組遺構平面図（東が下）



石組遺構掘削前（北東から）



石組遺構全景（北東から）



東岸テラス（北から）



東西テラスと石貼（北東から）



石積と石敷（東から）



石敷南西隅（東から）



飛鳥時代後期の土器



平安時代の土器